

随想

フィリピン・ドゥテルテ大統領のこと

先进国の名に甘んじる者に夢輝く将来は待つているのか

(株)PPQC研究所 加藤 宏光

六月二十一～二十四日にわたつて、フィリピン大学で特別講義を実施し、またフィリピン獣医師講習会での講義と実習をしてきた。著者が最初にフィリピンにかかわったのは、マルコス前大統領が失脚してハワイへ脱出したすぐあとであるから、今から三〇年も前のこととなる。

著者がPPQC研究所を設立して間もない頃、たまたま採卵養鶏を始めてみたいというフィリピン男性が個人商社を經營する日本人に連れられて訪ねてきた。今となつては明確に意識する業界人は少なくなつたが、かつての採卵養鶏技術はアメリカ由来するものが多く、アメリカへ最新情報を得るために出掛けていたものである。

誘われて見学した、当時のフィリピン採卵養鶏スタイルは、著者が業界に携わった当初（昭和三十四～三十五年時代）に匹敵したであろうか！

専業採卵養鶏場の多くは一、〇〇〇～三、〇〇〇羽の規模で、一万羽も飼養していればもう中規模であり、一〇人以上のスタッフが働いている。それもそのまま餌桶への配餌は配餌スコップに頼り、除糞もスコップによる前近代的な状態である。わが国の養鶏歴を考えれば、フィリピンのそれもわが国と同様の道をたどるであろうし、その時点で採卵養鶏を始めたいという人物はなかなか面白い。彼と共に道を歩めばあたかもタイムスリップをしたかのような体験を

できるかもしれない。著者の呼び掛けで、有志としてこの経済実験に参加して頂ける二名の業界人の方が現れた。こうした流れの中で、フィリピンを訪問する運びとなつたのである。

当時は戒厳令下ともいえる混乱の時で、兵士や警官がそこにマシンガンを持って立つており袖の下を要求してきた。三年余り続いたこのプロジェクトは、残念ながらうまくいかず、中途半端で立ち消えの形をとつた。気まずい雰囲気で、その後は彼の国を訪問することもなくなつてしまつた。

殺伐としたその頃から一五年も経つて、ジャイカの主催する

畜産研修生（モンゴル、ミャンマー島のアジア諸国メンバーセブン）八人で構成された半年の短期留学生集団の一員として、フィリピン大の職員であったランディ・ラブツ氏がいた。忠実で気立てが良く気も利く彼を留学生として受け入れて、博士号を取らせる計画を後輩である母校の教授に提案して、著者の研究所でサルモネラをテーマとして研究を続けさせた。彼は五年間の研鑽の結果、めでたく学位を得て帰国した。

それ以来、フィリピンとの交流が再開されて、一五年過ぎた。著者の研究所、PPQC研究所で学位を得たのは、後継者白田一敏博士を頭に四人、加えて、今博士課程で学位を取ろうとして

ている留学生二名が日々研究を続いている。

著者はこれまでのフィリピン大学との関係から、頼まれて特任教授を引き受けている。毎年養鶏経営と鶏病を含めた生産管理に関しての特別講義を受け持つて足掛け五年になる。本年度は、臨床獣医師会での鶏病診断法についての講義と実習、および大学での鶏病総論と非定型的鶏病の診断法を講義してきたのである。

本来は臨床獣医学会で特別講演と実習をミンダナオ島のダバオ市で開催する手配であつたが、例のIS（彼らはイラクとシリア由来のイスラミックステッジという意味でアイシスと呼ぶ）との戦闘でミンダナオ島全體が戒厳令下であり、危険が伴うとのことで、急遽マニラ近隣のリサール市において実施されることとなつた。

講演会や実習は滞りなく無事終了したが、戒厳令うんぬんが気になり、聞いてみた。

『ミンダナオで大変だけれど、

誘われて見学した、当時のフィリピン採卵養鶏スタイルは、著者が業界に携わった当初（昭和三十四～三十五年時代）に匹敵したであろうか！

専業採卵養鶏場の多くは一、〇〇〇～三、〇〇〇羽の規模で、一万羽も飼養していればもう中規模であり、一〇人以上のスタッフが働いている。それもそのまま餌桶への配餌は配餌スコップに頼り、除糞もスコップによる前近代的な状態である。わが国の養鶏歴を考えれば、フィリピンのそれもわが国と同様の道をたどるであろうし、その時点で採卵養鶏を始めたいという人物はなかなか面白い。彼と共に道を歩めばあたかもタイムスリップをしたかのような体験を

最近のドゥテルテ大統領の評判はどう？』

『支持率は八〇%を越えていますから、まだ高いですね！』

彼が昨年大統領になつた時の支持率が七〇%程度で、IS問題で戒厳令を敷くに至つては現状から当然それは低下しているものと考えていた著者は、以前を上回る支持率である。との話に驚いて確認した。

『八〇%？ 大統領になつた時が七〇%だったよね!? 今ミンダナオでみんなにもめているのに八〇%なの？』

『そうです。ダバオの騒動はアイシスが起こしているので、フィリピンのイスラム過激派というよりシリアやイラクの過激なイスラムがダバオで騒いでいるのです。ドゥテルテ大統領はこれを抑えるため、ミンダナオに戒厳令を敷いて沈静化しようとしています。国全体への働きかけとして、彼は税金制度を変えて（所得税を減税し、消費税率を四～五%上げる）、増えた税収分を貧しい人たちに回す政策

をトップダウンで進めていますし、また大学を含めて国公立の学校では学費をすべて無償化するように、強力に政策を固めています。貧しい人たちは、彼の新しい政治にとても期待していますから。『国を富ませるために、まず教育のレベルを上げなければ』と考えています。また、前政権までの汚職体质を一掃するために、汚職議員や公務員はすべてクビにしてしまいました。今、彼の周りにいるのは汚職のにおいがまつたくしない人たちです』

この話を聞いて、改めてこの国が目指している将来に輝く夢があることを実感した。さらに、今回の訪問で『街がきれいになつてること』にも気付いた。さらに、これまで街角のあちらこちらに捨てられていた紙くずやゴミの量が明らかに減っている。このことを尋ねると、

『ドゥテルテが怖いですからね！』

との答え。恐怖政治は勧められないが、この国の半分伝統と

をトップダウンで進めていますし、また大学を含めて国公立の学校では学費をすべて無償化するように、強力に政策を固めています。貧しい人たちは、彼の新しい政治にとても期待していますから。『国を富ませるために、まず教育のレベルを上げなければ』と考えています。また、前政権までの汚職体质を一掃するために、汚職議員や公務員はすべてクビにしてしまいました。今、彼の周りにいるのは汚職のにおいがまつたくしない人たちです』

この話を聞いて、改めてこの国が目指している将来に輝く夢があることを実感した。さらに、これまで街角のあちらこちらに捨てられていた紙くずやゴミの量が明らかに減っている。このことを尋ねると、

『ドゥテルテが怖いですからね！』

との答え。恐怖政治は勧められないが、この国の半分伝統と

なつてゐるさまざまな汚点を消失するためには、今彼のようないい。ちなみに、今回の臨床獣医師に対する講習・実習は参加者にポイントが与えられる。学会に参加すれば一ポイント、今回のような実習を経験すれば三ポイントといった具合である。これらのポイントが年間四六ポイントに達しない場合、獣医師の資格が失われるとのことである。これらのポイントによる有資格者の能力検定は、学校教員や国家試験で認定されるすべての資格保有者に対して課せられたもので、資格検定が毎年厳しく行われているとのこと。いつたん資格を取れば、無為条件で死ぬまで有効、というわが国よりもほど進んでいると感心させられる。

先進国の名に甘んじて、さじたる努力をしていない日本の若者に、果たしてバラ色の将来が待っているのであろうか？